



議会だより

〔題字〕 角 比呂志さん（島廻行政区）

第123号

かわさき

平成28年8月1日発行
福岡県川崎町



どろんこ田植え
楽しいな

とつげきインタビューは16P



6月
定例会議

新しく職員倫理条例可決	2
プレミアム付商品券など補正予算可決	3
6人の議員が登壇 ～一般質問～	7

議会だよりの表紙は、《大好き かわさき町》がテーマです。
みんなの大好きな川崎町に関する写真のご応募をお待ちしています。

川崎町役場 議会事務局 ご持参または郵送ください。
〔お問合わせ〕 川崎町役場 議会事務局 ☎72-3000（内線318・319）





職員倫理条例など可決

6月定例会議は6月7日から16日までの会期で開きました。
報告4件、議案12件を審議し議決しました。
(審査結果は6ページを参照)

職員倫理条例の制定

川崎町の職員が職務を遂行するにあたり、公務員としての倫理を保持するよう必要な措置を講じ、公務に対する町民の信頼を確保するために、このたび新たに川崎町職員倫理条例が制定されました。

育児休業等に関する条例を改正

少子化対策と職員の働く環境（継続的な勤務推進）を整備するため、夫婦が同時期に育児休業や短時間勤務等を取得できるようになりました。



川崎町公衆トイレ施設の設置及び管理に関する条例を制定

この条例は、町内に設置されている公衆トイレの設置及び管理に関する事項を整備するための条例制定です。

魚楽園駐車場公衆トイレについては、汲み取り料などの費用は、魚楽園が負担する無償委託となっています。



▲新築された魚楽園駐車場公衆トイレ

公園の設置及び管理に関する条例の廃止

「川崎町地域防災センター」の建設に伴い、川崎町中央公園が施設用地となり、公園がなくなるため条例を廃止します。

現在、中央公園は公園として使用できない状況です。



ごみ及びし尿の共同処理

組合規約が変更され、建設に関する事務を建設予定地である大任町に委託することになりました。委託事務の管理及び執行に要する経費の一部は委託市町村が負担することになります。



補正予算

赤字決算会計へ 前年度繰上充用金

川崎町学校給食センター特別会計補正予算（第1号）

補正前の額	補正額	補正後の金額
1億8,016万円	407万円	1億8,424万円

川崎町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）

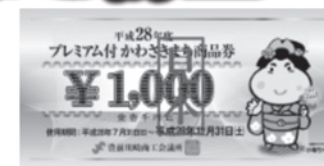
補正前の額	補正額	補正後の金額
2,240万円	5億6,139万円	5億8,379万円

川崎町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）

補正前の額	補正額	補正後の金額
25億6,931万円	6億885万円	31億7,817万円

プレミアム付商品券事業など計上

一般会計補正予算(第1号)は、1,349万円の増額補正となりました。
補正予算の主な内容は次のとおりです。



一般会計補正予算（第1号）

補正前の額	補正額	補正後の金額
98億6,968万円	1,349万円	98億8,317万円

コミュニティ助成事業等（あたか棚田彼岸花まつり、魚楽園春まつり）・・・ 290万円
青年就農給付金（対象者2名）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 300万円
かわさきまちプレミアム付商品券助成金等・・・・・・・・・・・・・・・・ 310万円
地域防災組織育成事業（櫛毛行政区）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 140万円

川崎町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第2号）

補正前の額	補正額	補正後の金額
31億7,817万円	162万円	31億7,979万円

国民健康保険運営の制度改正に伴う電算システム構築経費・・・・・・・・ 162万円

※金額については、千円以下を四捨五入しています。

特集 議会のしくみとは

選挙権年齢が70年ぶりに、「20歳以上」から「18歳以上」に引き下げられました。日本は少子高齢化、人口減少社会を迎え、18歳・19歳をはじめとする、若者の力を社会・政治が必要としています!!
そこで、川崎町の議会や議員を知ってもらうため、特集しました。



1 議員とは何でしょう？



授業で習ったけど…
なんだっけ？

議員とは、川崎町がより良い町になり、住みよくするにはどうすればよいか、話しあったり、決めたりする人たちのことです



川崎の事は
川崎に住むみんな
考えればいいのに…
何で議員が必要なの？



川崎町には約1万8千人の人が住んでいます。みんなの意見を聞いて話を進めるのはとても難しいですね。
だから、議員がみんなの「代表」として話し合うのです。

※川崎町には現在16人の議員がいます。



3月・6月・9月・12月には「定例会議」を開いて、川崎町の未来に関わるたくさんの大切なことを話し合います。

川崎町は通年議会だから
とても急ぐことがある時は
いつでも会議を開けるよ

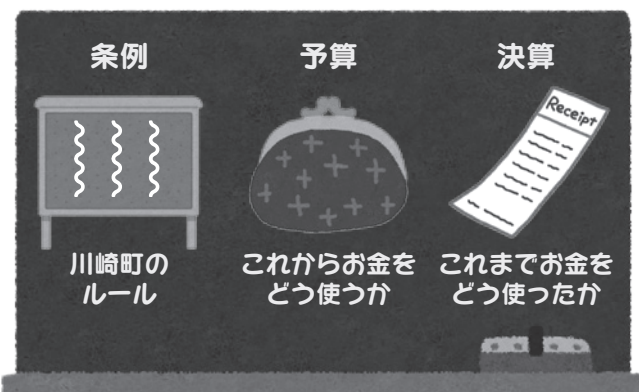


※通年議会とは会期を1年として、議会の判断が必要に応じて会議を開ける制度

大切なことって
何だろう？



たとえば
「条例」「予算」「決算」があります。



(ちなみに)
より詳しく話しあいたいことは
議員のうち何人が「委員会」を
開いて話し合います



7 委員会には議会運営委員会と常任委員会と特別委員会があります。川崎町では、すべての議員がいずれかの委員会に所属しています。

総務 常任委員会

町全体の計画、財政、
防災のことなどを担当



建設産業 常任委員会

道路、団地、商業、農業、
観光のことなどを担当

民生文教 常任委員会

教育、健康、福祉、環境、
水道のことなどを担当



予算決算 常任委員会

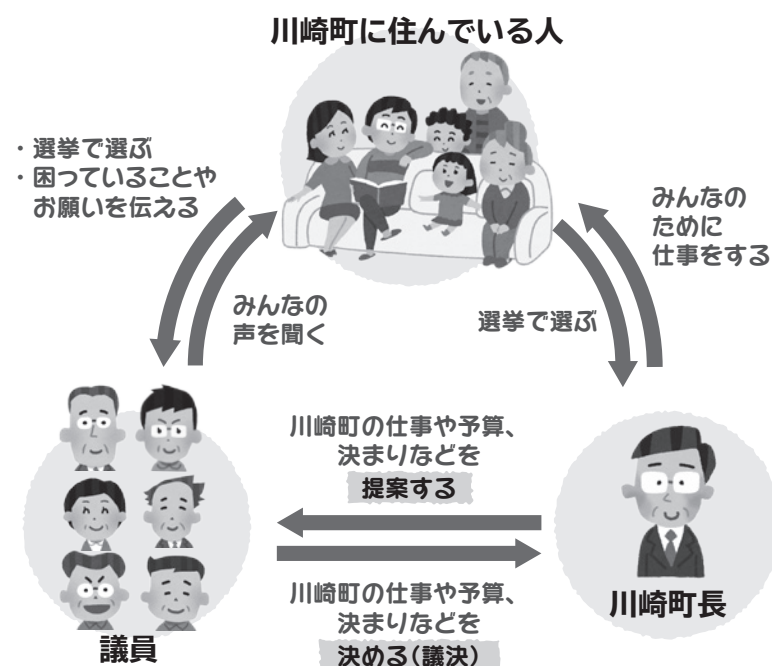
予算、決算のことなど
を担当

※議会運営委員会は、議会の運営に関わることを話します。
※特別委員会は現在、議会だより編集特別委員会があります。

8 いろいろしてるんだ。
でもわたしたちの暮らしと
どうつながっているの？



9 川崎町に住んでいるみんなと、議員のつながり



10 ちなみに…

議会へは、お願い(請願・陳情)を
することができます。
お願いは、川崎町の住民であれば、
誰でもすることができます。

お願いの方法は、2つあります

せいがん
請願

お願いの内容を議
会に紹介する議員
と一緒にします。

ちんじょう
陳情

お願いをする人
だけです。



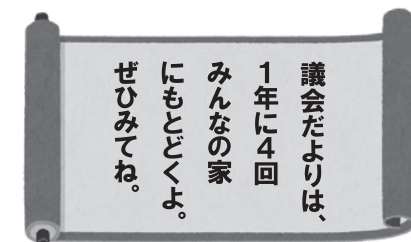
請願は、⑦で紹介した委員会
で取り上げられ、お願いの内容
について議会としてどうす
るかが話し合われます。

11 また、議会の様子はいろんな
方法で見ることができます



ホームページでも

広報紙(議会だより)でも



でも…
どうせなら生で
見たくないですか？



議会は
見学することが
できるんだ(傍聴)
みんな!!
まってるよ!!

ぜひきてね

平成28年度 第1回川崎町議会（4月会議）

議案一覧と賛否結果

議案番号	案 件 名	賛否の結果													関連記事
		手嶋真	松岡	繁永	大谷	西山	樋口	谷口	小田	千葉	原	手嶋康	櫻井	寺田	
発委第1号	川崎町議会委員会条例の一部を改正する条例について	(可決) 簡易表決													
報告第1号	専決処分の報告について（川崎町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例)	報告のため採決はありませんでした													
報告第2号	専決処分の報告について（川崎町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	報告のため採決はありませんでした													
報告第3号	専決処分の報告について（川崎町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例)	報告のため採決はありませんでした													
報告第4号	専決処分の報告について（川崎町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例)	報告のため採決はありませんでした													
報告第5号	専決処分の報告について（川崎町税条例等の一部を改正する条例)	報告のため採決はありませんでした													
報告第6号	専決処分の報告について（川崎町立幼稚園保育料徴収条例の一部を改正する条例)	報告のため採決はありませんでした													

平成28年度 第2回川崎町議会（6月定例会議）

議案一覧と賛否結果

議案番号	案 件 名	賛否の結果													関連記事
		手嶋真	松岡	繁永	大谷	西山	樋口	谷口	大田	小田	千葉原	手嶋康	櫻井	寺田	
報告第7号	専決処分の報告について（平成28年度川崎町学校給食センター特別会計補正予算（第1号））	報告のため採決はありませんでした													P3
報告第8号	専決処分の報告について（平成28年度川崎町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号））	報告のため採決はありませんでした													P3
報告第9号	専決処分の報告について（平成28年度川崎町国民健康保険税事業勘定特別会計補正予算（第1号））	報告のため採決はありませんでした													P3
報告第10号	平成27年度川崎町繰越明許費繰越計算書について	報告のため採決はありませんでした													
議案第1号	川崎町職員倫理条例の制定について	（可決）簡易表決													P2
議案第2号	川崎町職員定数条例の一部を改正する条例について	（可決）簡易表決													
議案第3号	川崎町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	（可決）簡易表決													P2
議案第4号	川崎町ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について	（可決）簡易表決													
議案第5号	川崎町重度障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について	（可決）簡易表決													
議案第6号	川崎町予防接種健康被害調査委員会条例の一部を改正する条例について	（可決）簡易表決													
議案第7号	川崎町公衆トイレ施設の設置及び管理に関する条例の制定について	（修正可決）簡易表決													P2
議案第8号	公園の設置及び管理に関する条例を廃止する条例について	（可決）簡易表決													P2
議案第9号	平成28年度川崎町一般会計補正予算（第1号）について	（可決）簡易表決													P3
議案第10号	平成28年度川崎町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第2号）について	（可決）簡易表決													P3
議案第11号	田川郡東部環境衛生施設組合の共同処理する事務の変更及び田川郡東部環境衛生施設組合規約の変更について	（可決）簡易表決													P2
議案第12号	川崎町と大任町との間のじん芥及びし尿処理施設の建設に関する事務の委託について	（可決）簡易表決													P2

賛否表の表示は、○賛成、●反対、Ⓔ欠席、Ⓕ退席、Ⓖ除斥となっています。
※簡易表決とは…あらかじめ議員全員の賛成が見込まれる場合に、議長が賛成者の起立を求めず「異議ありませんか」と諮ることにより可否を問う採決方法です。
※除斥とは………利害関係のある議員を、その議案の審議に参与させないことです。

一般質問

よりよいまちづくりをめざして

一般質問とは、定例会議において、各議員が住民の代表として、行政全般にわたり町当局の考え方や疑問をただすことです。

問う！！

町政を



谷口 武雄 議員

問 障がいのある子とない子が共に学び合う学校づくりを

答 理想にむけて教育活動をしします

議員 大阪の公立小学校「みんなの学校」というドキュメンタリーの映画がありました。その点について質問をさせていただきます。

みんなの学校の舞台となった大空小学校には、特別支援学級がありません。毎年平均すると全校で260人ほどの児童がいる中で、特別支援の対象となる児童が30人から40人ほどいます。知的障がい、自閉症等です。

また、発達障がいがあるとされる子、前の学校で不登校となり転校して来た子など、その内容はさまざまです。しかし、不思議なほど障がいがある子とない子の間に壁がないのです。学校が自分らしくいられる場所だから、不登校は限りなくゼロに近いのです。

すべての子どもと大人が共に学び合い、成長し合う姿は、今の社会に欠けている大切なものを教えてくれているように感じてなりません。

2006年から大阪市立大空小学校が取り組んできた公教育について教育長の考えをおたずねいたします。

教育長 大空小学校の内容については、新聞の報道で読みました。障がいのあるなしに関わらず、平等に子どもたちを学ぶ場所に置くという形で、それぞれが伸び伸びと育っていく内容でした。

この事を本町に照らし合わせた場合、可能かと言いますと、教師の理解、地域の理解、そして通っている子ども達の理解を高める為の条件づくりは、かなり必要になるだろうと思います。

したがって、まだまだ、川崎町では、ちょっと厳しい形ですが、この理想を追いながら教育活動をしてしなければならないと考えています。

問 バイオマスエネルギー構想の取り組みは

答 8市町村の懸案事項と考えます

議員 自然環境への影響が少なく、生態系と調和のとれた自然エネルギーのバイオマスエネルギー構想について、将来的に取り組む考えはありますか。

町長 現在8市町村でごみ及びし尿処理施設の整備を進めております。生ごみ等の活用によるバイオマスエネルギー施設の整備は今後の懸案事項と考えています。



◀みんなで行う体験学習



問 子どもの欠食、孤食の改善を

答 関係機関と連携し支援をはかる

議員 小中学校で、朝食を欠食する子どもの人数把握と対策はされていますか。

町長 家庭での現状把握は出来ていませんが、子育て支援センターには食事を作らない、与えない等の報告が時にあります。

食事は生命の維持や発育発達に欠かせないものですので、今後も子どもたちを守る観点から、関係機関と連携しながら子育て支援をはかっていきたい。

議員 朝食摂取率の高い県は、自宅学習率等も高く、欠食する子どもは、ひとり親家庭や所得200万円未満など社会的支援が必要な世帯が多いということです。欠食を回避するためには、地域への働きかけが必要だと思いますがいかがですか。

町長 育児放棄の状況の中、行政が先頭でやっていきますが、地域との連携でどう克服していくかという事は課題と認識していますので、しっかり取り組みをすすめてまいりたい。

議員 経済的に厳しかったり、ひとり親で食事の支度がままならない等、さまざまな事情を抱えた子どものために全国で「子ども食堂」が相次いで誕生していますが、本町ではどのように考えていますか。

町長 具体的な取り組みは考えていません。

問 不登校の現状と取り組みは

答 状況把握と面会や家庭訪問の実施

議員 本町の不登校児童、生徒の人数は何人ですか。

教育長 27年度の調査で30日以上の不登校は、小学校16名、中学校31名です。

議員 義務教育は人生の中の9年間ですが、どう過ごすかで一生を左右します。不登校解消のための取り組みを教えてください。

教育長 川崎町要保護児童対策地域協議会を結成し活用しています。そこで個別に対応を考えております。

問 職員の旅費条例は適切か

答 領収書の提出で実費を支給し適切

議員 旅費請求の際、必要な書類を提出することになっていますが、どういうものですか。

町長 概算払いの精算の時は、一般的に領収書、旅費の精算票、旅行命令簿で、定時払いに関しては、旅行命令簿ということで処理しています。

問 災害時の要援護者への対応は

答 要援護者支援プランで対応

議員 要援護者のうち、障がい者については、障がいの種類により対応が異なりますが、それぞれのマニュアルは出来ていますか。

町長 各障がい者ごとのマニュアルは作成していませんが、災害時要援護者支援プランの支援体制で対応できると考えております。

議員 福祉避難所の設置ありますか。

町長 2カ所ございまして、川崎町老人福祉センターと川崎町総合福祉センターを指定しています。

問 ふるさと納税返礼品の取り組みは

答 7月中旬以降に事業を開始

議員 返礼品の取り組みと商品開発計画があれば教えてください。

町長 3月25日の事業者事前説明会には、10件ほどの申し込みがあり、その後、選定を行い決定する予定です。

事業の開始は7月中旬以降の計画です。



問 各種団体への補助金、助成金の監査は「第三者機関」で

答 大事なこと。早急に検討したい

議員 昨今、政治家に、あるいは事業としての税金の使われ方について、「合法か」「違法か」はもとより「適切か」「不適切か」についても住民の目、世論に答えることが迫られております。

そして議会や行政として厳しい判断を迫られることが重要なこととなってまいりました。過日、福智町で起こった事件を契機にして「各種助成金」の使われ方についてこの機会に認識を新たにしておくことが肝要と考えます。

補助対象として、文化連盟、体育協会、彼岸花まつりや魚楽園春まつりなど直接住民の目に触れるものと、そうでないものがあります。

その中から、多くの住民が目につく「人権同和解放運動団体」の件について確認をします。

これは、住民に内容を十分に知ってもらって理解を深めてもらいたい団体側と、活動内容を知って税金が「適切」に使われているかを知りたい住民の双方にとって必要なことだと考えます。

解放運動という困難な活動内容を知り、理解してもらうことで、今の補助額では不足なのではないかという判断もあると考えます。

①現在の「人権同和解放運動団体」や各種補助金対象団体の、報告義務とその内容

②その報告に対しての、審査や監査の状況

③補助金の使われ方、効果などを住民が判るような仕組みの構築は

④行政だけに頼らない「第三者の監査機関」による審査機関の設立は

町長 ①現在、人権同和解放運動団体については、「部落解放同盟」、「全日本同和会」、「地域人権運動連合会」の3団体に、各種の研修会、研究集会などへの参加費、資料代などの名目で助成金を交付しております。

②チェック体制については、事業報告書及び実績報告書の提出を義務付けており、毎年各団体から提出されておりますが、決算報告書については提出を求めています。

③福智町で起こった事件を契機にして、田川郡町村会長と町村長の連盟で収支決算報告書の提出を申し入れようということにしております。

④特別な問題が発生したときなどに対応するため「第三者委員会」などで監査してもらうと言うことは大事なことであるので早急に検討したい。

問 「神幸祭」の衰退に行政の支援を

答 宗教的色合いもあり、関与しづらい

議員 川崎町には「安真木地区」「川崎地区」「田原地区」「池尻地区」と4つの神幸祭がこの町の伝統と文化を引き継ぎながら続けられているが、近年は質量ともに後退し衰退しているが、それはまさに深刻な状況である。

当町の貴重な観光資源のひとつと捉えれば、行政としてもこの衰退を止め、新たな枠組み取り組みで復興させることは重要な使命のひとつと考えられないか。

町長 状況は承知しており、後世に引き継いでいく重要な問題だと考えているが、地域に根付いた文化でもあり、また神仏行事でもあり行政が直接関与しづらい面があることをご理解いただきたい。

地域の取り組みに関しては行政として、情報発信など協力し支えることを検討していきたい。



▲天降神社のお神輿



問 町立レストラン穀×極はテナント貸しにすべきでは

答 暫く経営の推移を見つつ検討する

議員 野菜レストランに関し、議会基本条例第13条に基づき、この政策の発生源と将来にわたるコスト計画の明示を求めます。

食事料金を条例で規定し一方、直売所商品の値段は条例で規定していない、矛盾しないですか。

レストランの当初の収支計画と実態との乖離（かいり）はどうなっていますか。経営あり方検討委員会の結果を報告書の形で示して下さい。

また、農産加工所は有効に利用されていますか。

町長 都市と農村の交流、地元野菜の生産消費の拡大、農家所得の向上など目的にレストランを整備しましたが、これまで赤字経営が続いています。

平成27年度計画売り上げ年額5,600万円に対し、実績は2,560万円となっています。経営コンサルタントにも相談しましたが、うまくいっていません。

来年3月まで（株）D e・愛が指定管理者です。それ以降は経営形態の見直しを検討したい。農産加工所も活用不十分なところがあるので改善したい。

問 川崎駅周辺開発促進を

答 関係者と協議し推進したい

議員 川崎駅の無人化を食い止めたことは町長の力と高く評価します。香春や添田は主要駅が無人化され、今さらながら悔やん



▲川崎駅ホーム

でいます。本町は更に一步進め、駅周辺再開発で町中心部の空洞化を防止できませんか。

町長 駅周辺活性化プラン策定については、地元の方々からも提案頂いています。今後、行政区、商工会議所、観光協会など関係者と協議し進めていきたいと思っています。

問 補助金、交付金事務を厳格適正に

答 補助金条例を再度見直してみる

議員 近隣の町で、ずさんな補助金交付事務から逮捕者が発生。本町でも過去に公金横領があり、適正な事務管理が求められます。

本町の補助金件数と総額はどうなっていますか。実績報告書の提出は求めていますか。

町長 補助金57件約1億円、交付金7件2,600万円となってお

り、定期的に町監査に見てもらっています。交付団体には事業完了報告書を出してもらい、決算書は求めています。必要があれば条例の見直しを行います。

問 町の教育改革は進んでいますか

答 統一学校の早期開校をめざしている

議員 ①中高一貫校創設、②県立特別支援学校への高等部設置、③中学校統合と、これら政策は進んでいますか。

町長 ①県立大学に付属の中高一貫校を設置することで協議中です。

教育長 ②中学統合で余剰となる校舎を支援学校に活用するよう県教委に文書で働きかけます。

③現在、統合中学校建設地を選定中です。中学統合準備室を設置しましたので、しっかり対応していきます。



問 通学路の安全対策と改善を

答 安全対策を認識し適切な対応をしていく

議員 通学路の点検は、どのようにしていますか。

教育長 学校ごとに危険箇所を調査把握し、その都度、改善要求をしています。

今年4月に川崎町通学路安全推進協議会が組織され、通学路の危険箇所を合同点検し、対応策実施に向けての関係機関が連携することになっています。

議員 地域の方、保護者の皆さまから、狭い道で車の行き来が多く避ける場所がないと指摘があり、十分な歩道の幅が確保されてない箇所もありました。

東洋団地から豊州団地に抜ける中島店付近では、横断歩道を渡るうとするとかえって危険です。道路の改善の予定はありますか。

教育長 池尻地区で2カ所、真崎小学校区で1カ所、東小学校区で1カ所、危険箇所についてチェックし、関係機関と連携をとっています。

町長 児童を含め通行者の安全対策を認識し、職員による道路管理パトロール等で現場を確認し適切な対応をしていきたいと考えています。



▲池尻地区の通学路

問 進学時の負担軽減を

答 さまざまな形で考えていかなければならない

議員 入園入学等、進学時の保護者の負担は制服関係・学用品関係等出費がかさみ大変です。

本町でも繰り返しの使用を目指すリユースなどの負担軽減事業に取り組む考えはありますか。

教育長 経済的な困窮を理由とする就学援助制度で進入学学用品費等の援助はあります。

保護者負担の軽減の有効的な手段については、今後さまざまな形で考えていかなければならないと考えています。

問 防災Wi-Fi整備促進を

答 動向を見ながら検討

議員 本町にWi-Fi整備をした場所はありますか。

町長 本町ではありません。

議員 福岡県は、インターネットに無料接続できる防災用のWi-Fi整備を各市町村に呼びかけてますが、本町ではどう対応していく予定でしょうか。

町長 この事業は、整備費に補助があるようですが、設置後の運用費が生じますので、県内市町村の動向を見ながら検討していきたいと考えています。



問 本町にも子どもの貧困のことばの波が押し寄せてくるのでは

答 子どもの貧困は保護家庭と認識

議員 どの程度の生活水準が貧困であり、どの程度までが貧困でないのか境界がピンとこない。貧困とはこういったレベルを指しますか。

町長 子どもの貧困率は6人に1人が貧困状態にあり、その率は年々上昇傾向にあるとされております。

現在、川崎町の生活保護受給率は17.3%、小学生の家庭の保護受給率20.5%、準要保護率は24.7%、合計しますと45.2%、また中学生の生活保護率25.2%、準要保護率26%、合計で51.2%と非常に高く、子どもの貧困家庭が存在すると思われま。す。いわゆる、生活保護家庭また、準要保護家庭を貧困と認識しています。

議員 子どもは国の宝と耳にする言葉ですが、子ども達への影響を調査検討すべきではないですか。

また、土曜休みを自治体の裁量で元に戻しているところはないのでしょうか。

教育長 調査はプライバシーの問題があり、数字で中身を把握しています。子ども達への教育支援については、どの子ども達も平等に受けられる小学校で「まなびっこ教室」、中学校は補充学習を無料でしてるのが実状です。

土曜日の出校は各教育委員会に任されています。週5日制の中で土曜日の活用について、本町では、

県事業で「土曜の風」をコミュニティセンターで実施しています。土曜日に出校することは検討しておりませんが、これは各教育委員会で判断すれば出来る制度です。

来年度以降どういう方法があるか検討していきたい。

議員 生活保護、準要保護の方ばかりの貧困だけではないと思います。親の失業、低収入、病氣、離婚、死別など家庭の悪化が原因では。

子ども達は貧困のことば自体を把握してないと思います。貧困は次世代に残してはいけないと思いますが、どう思いますか。

町長 今年3月福岡県子どもの貧困対策推進計画を策定、具体的な施策の1つとして、6月1日付けで子ども支援オフィスを県下で4カ所開設、田川地区担当事務所は、行橋市にある福岡県自立相談支援事務所に併設されています。

積極的な訪問支援を活用して相談を受け付け、乳幼児期から包括的継続的支援を通して、貧困状態から脱却と連鎖防止をはかります。

本町でも、広報誌等で町民に周知を図り、子どもの貧困対策に取り組んで行きたい。



問 スクールソーシャルワーカーの配置は

答 県の事業を積極的に推進します

議員 現在、スクールソーシャルワーカーの配置が来ていますか。

今、学校の先生自体も心の病を抱えていると聞いていますが、いかがでしょうか。

教育長 昨年度において4つの学校を対象に16時間、県の教委から配置。今年度は県事業で「チーム学校」の制度が出来たのを真っ先に手を挙げ、1つのモデル事業として、川崎中学校に配置。

国の方も先生達の心の病も含め、子ども達を健全にするための施策を出しております。

ソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、生徒支援スタッフとして警察OBを配置。学校と家庭の連携を深めて学校生活の向上を更に努めて参ります。

議員 国の宝、川崎町の宝である子ども達を育てていくために、国県の補助金を沢山獲得していただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

教育長 国の政策、県の方針を踏まえ、獲得出来るよう努力していきたい。

もっと知りたい 委員会レポート

委員会の活動状況を報告します

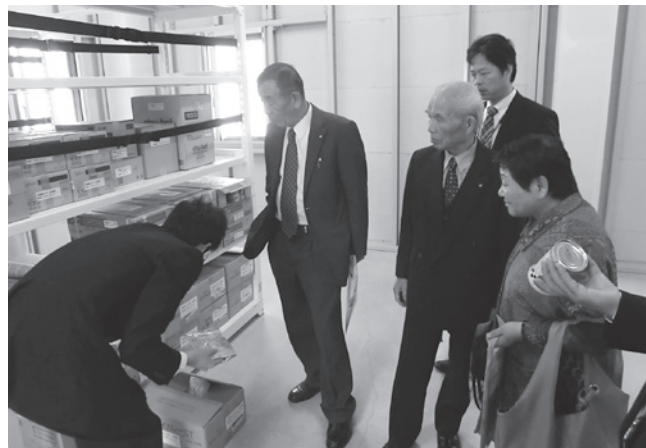


議会では年4回の定例会の休会中は、それぞれの委員会に分かれ、所管の現地調査や机上審議をしています。



地域防災の先進地を視察

総務常任委員会



▲志免町防災備蓄倉庫

災害発生時の緊急物資備蓄のため、地域防災センターが建築されることとなり、防災管財課長とともに、先進地である志免町防災備蓄倉庫の視察にお伺いしました。

平成23年に発生した東日本大震災を教訓とし、備蓄の拠点となる施設を整備することを目的として平成26年度に建築され、平成27年4月には、福岡県備蓄基本計画に沿って志免町備蓄基本計画を策定されていました。流通機能が麻痺し、被災地ニーズの的確な把握が困難で、被災地外からの支援も行き届かないとされる、発災から3日間程度を想定した備蓄のあり方を定めており、1階には避難所運営に必要な資機材や飲料水等の重い物を、2階には食料品を備蓄し、飲みやすい物やアレルギー対応食品、要配慮者や男女ニーズの把握等、きめ細やかな配慮がなされていました。

2階には事務室があり、通常は消防団本部の会議室として使用されていますが、有事の際には災害対策本部の代替室として必要機器の接続ができるよう工夫され、防災の要となる施設でした。

また、住民の連帯感が希薄化するなかで、要望に応

じて町内会や自主防災組織等への出前防災講座や消防訓練の手伝いを実施し、住民の連携強化と防災意識の向上に取り組まれていました。物づくりだけでなく、人づくりにも力を注ぐ姿勢がとても印象的であり、多くのことを学ぶことができました。

過疎地域自立支援計画

先進地である熊本県高森町に視察にお伺いする予定でしたが、熊本県地震が発生したため視察を取りやめ、企画情報課が所管する3事業についての説明を受けました。

<ふるさと納税>

納税してくださる方を増やすため、地元の魅力ある返礼品を準備するとともに、川崎町自体の魅力も発信していけるよう取り組んでいる現状を確認しました。高額納税者については、返礼品のほかに川崎の言い伝え集や町史を送るよう要望しました。

<豊前川崎駅運営事業>

無人化を避けるため、JRのOB3名を配置し運営を開始しました。JRからの委託料収入だけでなく、切符売上手数料を増やすべく、販売強化にむけて取り組んでいる現状を確認いたしました。

<超高速ブロードバンド>

個人の転入だけでなく、企業が川崎に進出するためには、超高速ブロードバンド、光ファイバー回線の整備が大きな要件であることから、通信事業者と協議を進め、本町が費用の一部を財政支援して整備を目指す取り組みを確認し、たがわ情報センター建設当時の経緯や、進捗状況の確認も含めて、今後も引き続き調査していきます。



放課後学習の先進地を視察

佐賀県上峰町へ「放課後オンライン個別学習の取り組み」の研修視察に伺いました。

上峰町では、若手の町長が教育重視を公約にICTを活用した先進的教育を行っており、町内全域に光ファイバー通信網が充実し、小中学校の電子黒板、パソコン、タブレット、高速WiFiを完全配備することにより、グローバル化に対応した教育を行っています。また、幼稚園、保育園から小中学校まで一貫し英語教育も行っています。

現代レベルの教育政策が非常に高い成果を上げており、一度故郷から離れた人も子育てを上峰町でしようと人口増加にもつながっています。

26年度より、個人レベルに合わせたマンツーマンでのオンライン学習を行い、生徒各自が納得いくまで学習できたのが、生徒や保護者、地域に理解され、受験対策としても活用されているそうです。

当初、財源に困っていましたが、発想を転換した課長のアイデアで、川崎町では道路維持管理等に充てられてる雇用対策事業費を、民間の学習塾企業に委託することで、雇用と学力向上が一石二鳥ででき、指導するボランティアの確保に苦慮することなく、プロならではの指導方法やスキルアップのノウハウが活かされ、生徒達も満足しているそうです。

印象に残ったのは、電子黒板やパソコン、タブレット等の導入時「習うより慣れる」の精神でどんどん使ったことが、今の結果を作ってくれたということでした。

安心安全な通学手段確保へ

安真木地区の中学生保護者から寄せられた、通学時の安全確保について審議を行いました。

徒歩や自転車通学が基本ですが、道路幅の狭い箇所には大型車の往来が増えたり、街灯の少なさから危険性を心配して、車で送迎している保護者が多いという声が聞かれました。

そこで、スクールバスを管理する教務課と、町のふれあいバスを管理する防災管財課に、生徒の安心安全のために所管を超えてバスのダイヤや軽微な変更など、調整の余地のある部分への提案と意見書を提出し、即応は難しいが前向きに検討していくとの回答をいただきましたので、今後の対策を重視していきたいと思います。

配食サービスを実食

本年度から外部委託になりました配食サービスの調査を行いました。利用者は2月末で66人、月に48食で個人負担は250円。

アンケート調査を実施し、ご飯の硬さや塩分濃度、おかずなどが改善され、9割以上の利用者が満足されているようでした。さらに糖尿病対策やおかずだけ弁当などの工夫を要望し、その後、委員全員で実費にて実食をしましたが、とてもおいしくて色味も良く、委託先である川食さんの努力を感じました。

民生文教常任委員会

町内各施設を現地調査

<町内3中学校>

一小一中である池尻中学では、学力向上のために小学校からの基礎強化が課題であるとの報告でした。

部活動では、個人種目で活躍する生徒が数名出ていますが、反面では不登校の生徒が多いのと、PTA活動の活性化を望む声がありました。

鷹峰中学では、あいさつ・掃除・チャイム席を第二の校訓として取り組み、効果が出てきているようです。

また、PTAとの連携を強化していきたいとのことでした。

川崎中学は、本年度比較的落ち着いた状況であり、昭和の抱え込み型の教育指導法を脱却して、心のスイッチを入れるのは自分であると、生徒に感じ伝えていきたいという校長の信念が印象的でした。

今は中学を無事に出るというスタイルになっていますが、人生で一番大事な分岐点にあるこの子たちの為にという気持ちで、先生方にも頑張ってもらうほかありません。その為のバックアップやフォローは、議会も最善を尽くしますと伝えました。

なお、数年にわたりPTA第一要望であり、先生、生徒からの熱望である中学校夏期エアコン設置について、近年の気候や生徒数差による猛暑での学業は、行政の責任において、教育環境を改善すべきもので、国内ではごく当然の設備となっていますし、教育関連法の等しく学ぶ権利の中には、教育環境設備も含めるという判例があります。国からの交付金は、その用途を首長に委ねていますという回答もあり、その中で格差が生じていることは認識しているとの広報がありました。

統合を控えている事情もわかりますが、受験生の大切な夏の時間を町が見過ごすわけにはいかないはずで、す。学業に集中させてあげるためにも、再度、低コストの3ヶ月リースでの設置を強く要望いたします。

<健康づくり課>

健康づくり課では、枠組みを取り払い10課による健康づくり対策会議を開き、イベントなどの審議がされていることに飛躍的な前進を感じました。

保健センターでは、健康相談、指導において食と運動の関連重要性を保健師、栄養士の両面で取り組んでおり、学校給食や配食サービス、さらにはレストラン穀×極まで連携をとり、それぞれを町の特色として、より良いものにできないかと提案しました。

その後、食生活改善推進協議会と共に行っているプチ食育館事業で実食をしました。地産野菜の利用や理想的な健康バランスのとれた料理により、町民への実食指導が充実し、多くの人に利用されているのが確認できました。



溜池、井堰、水門、農業用水路を調査

建設産業常任委員会

農業を活性化するため水利組合や受益者、責任者などが一同に介し、お互いに情報交換を含めた会議をおこなってはどうかと提案いたしました。

また溝掃除について、掃除後の土捨て場が無くいつも苦慮しています。町として土捨て場を検討していたきたいと要望いたしましたところ、速やかに対応していただき、とても喜ばれています。

現地調査では、以前より堤体に膨らみがあり経過観察していると報告を受けた西田原の石橋池と現在使用不能になっている太田の平田池へ行きました。

石橋池については、堤体が膨らみ一部水が漏れている状態で、速やかに危険度など調査する必要があることを指摘いたしました。受益が本町と田川市に及ぶということもあり、田川市にも現状を認識していただき、受益農家の確認をしっかりとこない、補強工事が必要であれば計画していただくよう要請いたしました。

また平田池は現在水が溜まっておらず、溜池としては使用不能になっています。このような溜池は今後受益農地など必要性を検討し整理する必要があるのではないか。危険箇所には看板を立てるなど安全管理の問題も充分考慮していただけるよう要望いたしました。

井堰では、櫛毛の馬小測井堰と川崎町に2カ所しかないラバーゲートを使用している安宅の井流井堰へ行きました。馬小測井堰では、ゴミが溜まり利用者が困っていると聞いています。井流井堰では以前、災害時の流倒木によりラバーゲートが破損したという説明を受けました。今後は管理の所在を明らかにし事故防止に繋げていただきたい。

次に田川市と川崎町が共同で行っている平和台団地横の水路新設改修工事現場へ行きました。雨が降ると水害が頻繁に起こり大変困っているところでしたが、今回の工事により被害が解消されるとのことでした。



▲石橋池の側面にできた膨らみ



▲平和台団地付近の水路

本委員会の所管部分の過疎地域自立促進計画

執行部より説明を受け、委員会より町内の道路は穴が開くなどしているところが多く、過疎計画で道路整備が十分におこなえているのか。安全確保が出来ているのかについて言及いたしました。

また過疎計画での事業主体を川崎町のものに止まらず、民間団体など含めいろいろな組織、機関が一丸となって行っていただきたい。

住宅に関しては長寿命化計画をしっかりと見直して頂き、既存住宅の補修、メンテナンスなども合わせて行っていただきたいと要望いたしました。

熊本・大分地震にともなう本町の被害

町営住宅、道路、溜池など地震発生後速やかにパトロールを行い、今回の地震での大きな被害はなかったようですが、今後も地震発生など予想されることから、老朽化している住宅などについては引き続き対策を十分おこなって頂きたい。

議会の傍聴においでください

次回定例会(予定)

9月 6日…本会議(初日)

9月 9日…本会議(中日)

9月16日…本会議(一般質問)

9月20日…本会議(最終日)

川崎町議会ホームページ <http://www.gikai-kawasaki.com/> 川崎町議会 検索

今回の

主人公



みどり保育園 そう組
中村 美海ちゃん(5才)

Q1. 田植えをしての感想は？

→ 楽しかった

Q2. どんなことが楽しかったですか？

→ 泥んこになって植えたこと

Q3. どんなところが大変でしたか？

→ 植えるところ

Q4. お米作りに興味がわきましたか？

→ お米ができるのが楽しみ

Q5. お米作りをしている人たちにひとこと！

→ 田植えのお手本を見せてもらったら、上手だった!!



お米が出来るのが楽しみ♪



↑北九州市から参加の親子

町内かわらばん

川崎ワークショップ ～田舎のお仕事～



6月26日（日）川崎町地域おこし協力隊が企画した「梅干し漬け&梅シロップ作り」のワークショップに参加してきました。天気に恵まれ、楽しい時間をすごせました。知ってましたか？「あたか梅」は大粒で香り高く、とても上質！

小峠範子先生から、ちょっとしたコツや上手につけるポイントを教えてもらいわが家に持ち帰りました。

食事の時にいただいた“高菜の油炒め”も最高。

これからも色々な企画を考えているそうです。

是非ご期待を。

編集 後 記

「オズの魔法使い」では、主人公のドロシーが、竜巻で飛ばされるところから冒険が始まります。遠い国の出来事のように思っていたのですが、昨今、日本でも竜巻が発生し、被害が出るようになりました。豪雨や地震が毎年のように被害をもたらし、何かの警鐘のような気がします。蛍や赤とんぼに触れる事が出来る川崎町の自然に感謝し、大切にしていきたいものです。



● ● ● ● ● ●
委員 委員 委員 委員 副委員長 委員長
小寺 大 千 松 手 樋
田 田 谷 葉 岡 嶋 口
春 加 久 真 秀
卓 響 清 子 代 美 隆

● ● ● ● ● ●
議 長
見 月 勸

【議会だより編集特別委員会】